

brh.co.jp

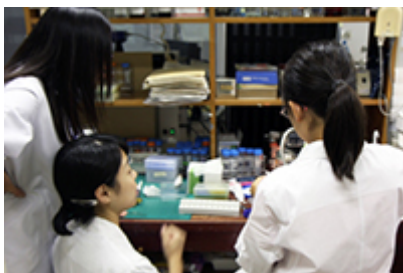
ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ | サマースクール 2016年度の報告 | 催し

2～3分

ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ 「からだを作る細胞を観察して研究の種を見つけよう！」



今年のサマースクールでは、高校生、中学生の3名が私たちの研究室に所属して2日間を過ごしました。卵の中の細胞を観察することが今回のテーマでした。卵の中でからだを作る細胞の集団が示す、秩序、ダイナミズム、多様性を少しでも見ることができればと思いましたが、観察するための技術を習得するだけでも時間がかかってしまうので少し難しかったかもしれません。



今回一番伝えたかったのは、「研究」という活動が自分自身

の興味としっかりと向き合うことだということです。そのために、あらゆる判断を生徒にゆだねました。何を知りたいと思うかで、何をすべきかが異なってきます。指導する私たちにできることはきっかけを作ってあげることで、バタバタとした時間ではありましたが、生徒のみなさんは戸惑いながらもそれぞれが自己表現をしてくれたように思います。

迷い、それを打ち破る行動力の中に新しい発見や新しい道があるように常々思っています。今回のスクールでそんなことを感じていただけたらならば幸いです。

小田広樹（研究員）



私は、生物にとっても興味があり、今までカブトエビやミジンコを飼っていた経験がある。しかし実際に実験したり観察したりということはあまりしたことがなかった。なので、生物に関する細かな実験をしたいなと思って今回申し込んだ。1日目は、楽しみという気持ちよりも不安で押しつぶされそうになっていた。しかし、実験を進めるにしたがって楽しさがまさっていき2日目がまちどおしくなった。今回は、クモの卵に注射をする実験をしたが、他にも実験はいくつかあったので、次いける時は、ちがう実験をしたい。



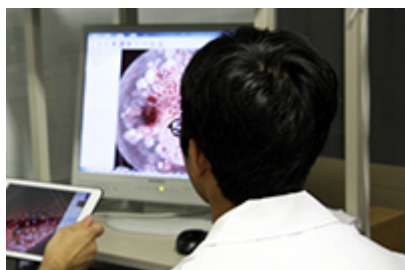
JT生命誌研究館でのサマースクールの参加は遠くからの参加

は勇気がいりました。2日間だからです。しかし、2日間以上研究を体験するには必要だと思いました。研究員の方々が丁寧に教えて下さるので、何も心配なくサマースクールに参加出来ました。ありがとうございます。

又、私はハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろう ラボの参加でしたが、研究員の先生が「自分の興味ある事を観察してもいいですよ。」と言って下さいましたので珍しく生きてるクモの卵があり観察しました。人間の心臓とは形や場所が異なりますが、力強く拍動しているところを顕微鏡で観察できて感動でした。

研究員の先生がとても親しみやすく、話を聞いてくださるので、自分の意見も話す事が出来て楽しかったです。

私は自然の多い田舎に住んでいますが、人間の手が入っていない自然のまま残されている伊勢神宮林等を先生方と歩きながら観察したり、お話を聞いたり出来たら楽しいだろうな—と思いました。



この度はサマースクールに参加させていただいてありがとうございます。今回は2回目のサマースクールとなりましたが、またとても貴重な体験をさせていただきました。このハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボでは、ショウジョウバエの卵を観察する実験と、オオヒメグモの卵に色素を注入し、その色素で染まった器官を観察する実験をやらせていただきました。その観察にはもちろん顕微鏡をつかったのですが、それも学校にあるようなものではなく、千万円以上するようなものを使い、とてもきれいに見ることができました。

オオヒメグモの卵に色素を注入する時には、針が細く、注射するのが難しかったです。うまく器官を写せたものもあったのでよかったです。その他にも西川先生の講義やランチパーティーなどとてもよい経験になるものがありました。最後になりましたが、生命誌研究館の皆様本当にありがとうございました。

これまでのサマースクール
